

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	頁
教育センター	企画相談課	教育相談事業	16,711	16,711	43
教育センター	学校ICT化推進室	学校教育ICT化推進事業	2,409,285	2,288,489	45
教育センター	能力開発課	科学教育推進事業	8,448	8,448	47
教育センター	能力開発課	教職員研修	56,200	56,200	49
教育センター	能力開発課	幼稚園管理運営事業(教育センター)	14,188	14,188	51
地域教育支援部	地域教育振興課	舩松社会教育会館管理運営	3,257	3,257	53
地域教育支援部	地域教育振興課	青少年センター図書室運営	11,514	11,514	55
地域教育支援部	地域教育振興課	小学校施設開放事業	18,303	18,303	57
地域教育支援部	地域教育振興課	中学校施設開放事業	7,257	7,257	59
地域教育支援部	地域教育振興課	地域学校協働活動推進事業	434	434	61
地域教育支援部	地域教育振興課	社会教育関係団体支援事業	8,488	8,488	63
地域教育支援部	美原こども館	美原こども館管理、美原こども館健全育成	39,860	39,860	65
地域教育支援部	放課後子ども支援課	放課後子ども総合プラン事業	865,793	865,491	67
地域教育支援部	放課後子ども支援課	放課後児童対策事業(のびのびルーム)	1,788,425	1,787,405	69
地域教育支援部	放課後子ども支援課	放課後ルーム事業	102,924	102,845	71
学校管理部	学校給食課	食育推進事業	241	241	73
学校管理部	学校給食課	高等学校(定時制の過程)給食運営事業	1,290	1,290	75
学校管理部	学校給食課	小学校給食事業	2,170,025	2,085,717	77
学校管理部	学校給食課	食の安全	40,624	40,624	79
学校管理部	学校給食課	中学校夜間学級給食運営事業	1,629	1,629	81
学校管理部	学校給食課	特別支援学校給食運営事業	47,525	47,525	83

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	教育相談事業	事業番号
担当部署名	教育委員会事務局	038-066
局	教育センター	部
課	企画相談課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	目標(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5
		寄与するKPI	有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化		
		施策との関連	有・無	指標名	—	—	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン				
3	事業開始年度	昭和 40 年度	終了(予定)年度	令和 - 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育文化センター条例 発達障害者支援法				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■出先機関				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■不登校や発達障害などの課題を抱えた児童生徒、子どもの教育について悩む保護者、子どもや保護者への対応に悩む教員など。				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■子どもの教育に関する課題が多様化・複雑化する中で、不適応を示す子ども、不安を抱く保護者、そして対応に悩む教員など、それぞれが、課題に向けて一定の自信を回復し、現実的な解決にめどが立つ状態にする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■子ども・保護者・教職員を対象に、不登校・いじめ・虐待・非行・集団不適応・発達障害等の教育上の課題について、面接や24時間電話による教育相談を実施し、子どもの健やかな成長発達を促し、自立を支援する。面接相談は教育文化センター(ソフィア教育相談)と人権ふれあいセンター(ふれあい教育相談)の2か所で開催。また、相談員の専門性の向上を図り、ケース会議や教員研修を実施して学校の教育力向上を図っている。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	■ダイヤル・サービス株式会社				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	目標	終了(予定)年度
11 面接相談の課題達成率 (年間相談件数のうち、解決件数及び課題解決に向け良好な形で継続している件数の占める割合)	%	目標値	100	100	100	100	100	—
		実績値	95	95	—	—	—	
		達成率	95%	95%	—	—	—	
		当該指標を選定した理由 理由なく中断となった相談数及び課題解決に至っていない相談数の割合を算出し、より良い対応へとつなげるため						
目標値の設定根拠・算出方法		相談最終件数及び課題解決に向け良好な形で継続している件数÷総相談件数×100						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 学校との連携率 (ただし、相談者が希望しない場合は学校に連絡をすることはしない)	%	目標値	75	75	75	75	75	75
		実績値	74	75	—	—	—	
		達成率	99%	100%	—	—	—	
		当該指標を選定した理由 他機関連携の一つの指標として連携率を出している						
目標値の設定根拠・算出方法		連携を取った学校件数÷来所児童生徒の所属学校数×100						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教育相談事業	事業番号	038-066
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	16,066	16,332	15,608	16,373	16,711
	国支出金	3,316	3,358	3,435	3,363	3,369
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	12,750	12,974	12,173	13,010	13,342

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算	R4	予算		R3	予算	R4	予算
14 事 業 費 内 訳	電話教育相談事業 (枠)	R3	予算	13,860	10,657	普通旅費 (枠)	R3	予算	216	216
		R4	予算	13,860	10,651		R4	予算	201	201
	通信運搬費 (枠)	R3	予算	754	594	費用弁償 (その他) (枠)	R3	予算	88	88
		R4	予算	754	594		R4	予算	88	88
	医師報酬 (枠外)	R3	予算	560	560	会場等借上料 (枠)	R3	予算	71	71
		R4	予算	560	560		R4	予算	63	63
	消耗品費 (枠)	R3	予算	500	500	研修会等参加負担金 (枠)	R3	予算	33	33
		R4	予算	838	838		R4	予算	56	56
	謝礼金 (枠)	R3	予算	287	287	その他	R3	予算	4	4
		R4	予算	287	287		R4	予算	4	4

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍において、対面での研修実施ができなかったため、オンラインでの研修に切り替えた。教育相談の研修はワークを伴うものが多いため、研修中止となったものもあった。 ■ 教育相談（面接相談と24時間電話相談）を実施した。
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育相談の実施する教職員対象研修についてのより充実を図るため、実施形態なども含め検討を重ねる。 ■ 教育相談（面接相談と24時間電話相談）の継続実施。
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育相談グループの実施する教職員対象研修についての充実。 ■ 教育相談（面接相談と24時間電話相談）の継続実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ いじめ・不登校問題に関する研修について教職員にとって必要と考えられるものを精査し、実施する。 ■ 24時間電話教育相談の安定的かつ継続性を鑑み、夜間・日祝日問わずいつでも対応できるよう相談体制を充実させる。 ■ 拡大ケース会議等を通して、相談員の専門性向上により、発達障害等に関する教育相談を充実し、子どもやその保護者、教職員を支援する。 ■ 知能発達の検査の中で最も頻度高く使用される検査キットが新しくなるため、古いものから順次刷新していく。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校教育ICT化推進事業	事業番号
担当部署名	教育委員会事務	038-063
	局	部
	教育センター	学校ICT化推進室
		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤ICTを最大限活用した教育の推進			
			有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5	
		寄与するKPI	有	取組	教育におけるICT活用の推進			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	平成 17 年度	終了(予定)年度	令和 — 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 出先機関
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	■ 堺市立全学校園の児童・生徒(約65,000人)及び教職員(約4,500人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 情報教育の推進、学校園におけるICT機器の整備、校務事務等のICT化の促進、教職員へのICT活用研修、積極的な地域・市民への学校情報の発信等により、教育ICT化を推進する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ ICTを活用した児童生徒の学力向上及び情報活用能力の育成 ■ 小学校及び支援学校において、令和2年度から必修化となるプログラミング教育を推進(全小学校及び支援学校にプログラミング教材及び児童用タブレット端末を整備) ■ 教員のICTを活用した指導力向上(平成25・26年度において全小学校及び支援学校に、平成29・30年度において中学校43校へ指導用タブレット端末を整備) ■ 校務事務の効率化(平成27年度より「子どもサポートシステム」の本格運用開始。平成28・29年度に校務用端末約4,000台を更新整備。文書管理システムを更新) ■ GIGAスクール構想の推進(令和2年度において児童・生徒一人一台の端末を整備)
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	■ 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社、富士通リース株式会社、パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度	
						令和2年度
11 教育用端末整備状況 (児童・生徒に対する整備台数)	人/台	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	1		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		国の基準が示されており、比較指標として妥当であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		児童・生徒数/教育用端末数で算出。目標値は国基準(平成30年度より3クラスに1クラス分程度⇒3人/台⇒令和2年度より1人1台)としている。				
12 授業中にICTを活用して指導する能力 (授業でICTを活用できる教員の割合)	%	目標値	100	100	100	
		実績値	83	83		
		達成率	83%	83%		
当該指標を選定した理由		事業の主要目的である、情報教育の推進を測るうえで、妥当な指標であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		毎年実施されている文部科学省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」結果。(※平成30年度より目標値を100%に変更。)				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	学校教育ICT化推進事業	事業番号	038-063
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	1,081,953	1,261,335	3,576,151	2,384,840	2,409,285
		国支出金			1,305,685	46,830	6,000
		府支出金					
		市債			818,300		
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	1,081,953	1,261,335	1,452,166	2,338,010	2,403,285

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R	予	算	事	業	費	事	業	費	事	業	費	事
		学習者用端末賃貸借	R3	予	算	645,388	645,388	委託料	R3	予	算	69,201	69,201		
			R4	予	算	645,388	645,388		R4	予	算	80,749	80,749		
		教育用プラットフォーム賃貸借	R3	予	算	331,268	331,268	使用料及び賃借料	R3	予	算	1,220,702	1,220,702		
			R4	予	算	331,268	331,268		R4	予	算	1,204,220	1,198,220		
		GIGAスクールサポーター等配置事業	R3	予	算	93,660	46,830	負担金	R3	予	算	4	4		
			R4	予	算	90,849	90,849		R4	予	算	4	4		
		家庭学習用インターネット通信回線の提供業務等	R3	予	算	15,983	15,983	その他	R3	予	算	3,634	3,634		
			R4	予	算	19,597	19,597		R4	予	算	4,480	4,480		
		需用費	R3	予	算	5,000	5,000		R3	予	算				
			R4	予	算	32,730	32,730		R4	予	算				

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ 校内高速通信ネットワーク構築、1人1台パソコンの導入
	R4	■ 1人1台パソコンの活用推進研修の実施、既存導入機器の契約見直し、小学校テレビの入替
	R5以降	■ 小学校テレビの入替

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 1人1台パソコンの更なる活用を進めるために必要な予算を要求していく。
----	---------	--------------------------------------

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	科学教育推進事業		事業番号	038-061		
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター	部	能力開発	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1	
			有	取組	総合的な学力の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値 (全国を100とした場合)			
		有	現状値	小6 100.5 中3 95.8(2019年度)	目標値	小6 103.0 中3 100.0(2025年度)		
		有	現状値	小6 : 100.5、中3 : 95.8(2019年度)	目標値	小6 : 102.0、中3 : 98.0(2023年)		

2	関連計画			
3	事業開始年度	— 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育公務員特例法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 理科教育振興法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■出先機関
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	■小学校教員・中学校理科教員(約2,300人)、児童・生徒(約64,000人)、市民(約82万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■教員の理科指導力の向上、児童生徒の理科に対する関心意欲の向上、市民の科学に対する意識の向上。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■教員研修 教材研修会、理科主任研修、理科授業づくり研修、スキルアップ研修等の集合研修に加え、学校からの要請に基づき、学校へ指導主事派遣し、校内研修を実施する。 ■堺市学校理科展覧会の開催 児童生徒及び教職員の理科研究を奨励し、研究交流の場として、研究物並びに製作物の展示・発表を行う。 ■小学校理科特別授業実施事業 関係団体の専門家を講師に招聘し、技術の実用事例を基にした内容で小学校理科特別授業を実施する。 ■科学催事「堺科学教育フェスタ」・市民科学講座の開催 ■堺サイエンスクラブ 小学校6年生を対象に、大阪府立大学の「未来の博士育成ラボ」と連携した継続的な研究活動を通して、観察実験の技能・科学的思考力・プレゼン能力等の向上を図り、将来科学分野で活躍する人材を育成する。
9	主な支出先 (委託、補助金・負担金等)	—
10	公民連携・協働事業	■大阪府立大学

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
	「理科の授業の内容はよくわかりますか。(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)と答えた児童・生徒の割合」	%	目標値	76	76	77	78
			実績値	79	—	—	
			達成率	104%	—	—	
当該指標を選定した理由	教員の理科指導力が向上しているのかを、生徒の意識調査の結果で見取るため。						
目標値の設定根拠・算出方法	(小学校3~6年の平均 + 中学校1,2年の平均) × 1/2						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
	教員研修の実施回数	回	目標値	112	100	100	
			実績値	78	85	—	
			達成率	70%	85%	—	
当該指標を選定した理由	教員の理科授業力の向上に向けて、教員研修の実施が有効な手立てであると考えたため。						
目標値の設定根拠・算出方法	集合研修、訪問指導研修、教材研究に活かせる資料の掲載の回数の合計						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	科学教育推進事業	事業番号	038-061
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財源内訳	10,310	9,889	4,995	8,703	8,448
国支出金	0	0	0	0	0
府支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
その他 (子ども教育ゆめ基金繰入金 諸収入)	4,020	3,876	20	2,650	2,561
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源	6,290	6,013	4,975	6,053	5,887

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	会計年度任用職員報酬	R3	予算	4,176	4,176	謝礼金 (枠)	R3	予算	220	40
		R4	予算	4,176	4,176		R4	予算	181	40
	科学催事事業 (枠)	R3	予算	2,250	0	普通旅費 (枠)	R3	予算	131	131
		R4	予算	2,250	0		R4	予算	131	131
	消耗品費 (枠)	R3	予算	890	670	その他報償費 (枠)	R3	予算	77	77
		R4	予算	666	496		R4	予算	77	77
	期末手当 (会計年度任用職員)	R3	予算	505	505	印刷製本費 (枠)	R3	予算	63	63
		R4	予算	505	505		R4	予算	71	71
	費用弁償 (通勤費)	R3	予算	312	312	その他	R3	予算	79	79
		R4	予算	312	312		R4	予算	79	79

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理科に関する専門性の低い小学校教員を中心に、子どもの安全、資質・能力の向上のため教員研修を実施。 ■ 堺市学校理科展覧会や企業による理科実験教室、堺サイエンスクラブ等を児童生徒へ直接実施。 ■ R3年度から科学催事「堺科学教育フェスタ」と「堺で科学サカイク」を統合、一部オンラインも取り入れ実施。
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺サイエンスクラブにかかるアシスタントや、研修のための消耗品等の予算を削減し、実施予定。 ■ 教員研修については、ICTの活用等、近年大きく変化している学校の状況を踏まえ、研修内容を検討し実施する。 ■ 催事に関しては、限られた予算・人員の中、一部業務委託をしながら協力団体と連携し、実施する。
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 産官学連携を実施し、新たな連携の検討。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本市は、科学館がなく、市民に対して実施している市民科学講座、科学催事が本市で唯一の科学教育推進の場となっているが、令和3年度は、これまで行なっていなかったコロナ対策にかかる人件費が加算されたため、科学催事事業(枠)の予算内で、契約することができなかった。来年度も科学催事事業(枠)についてコロナ対策を見越して予算化をする必要があるため、増としている。増の分は、堺サイエンスクラブ実験材料、実験器具、薬品等を減としている。 ■ 予算削減のため、堺サイエンスクラブの他、教員研修のために使用してきた消耗品費も削減している。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	教職員研修	事業番号	038-067
担当部署名	教育委員会	局	教育センター
		部	能力開発
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		有	取組の方向性	①信頼される教員の育成				
		寄与するKPI	有・無	指標名	「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)」と答えた児童生徒の割合			
	有	現状値	小6 88.4%、中2 78.8%(2019年度)	目標値	小6 90.0%、中2 85.0%(2025年度)			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.1	
		有	取組	総合的な学力の育成				
寄与するKPI		有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値(全国を100とした場合)				
有	現状値	小6 : 100.5、中3 : 95.8(2019年度)	目標値	小6 : 102.0、中3 : 98.0(2023年)				
2	関連計画	■堺市教育大綱 第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 - 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度				
4	実施根拠(根拠法令、条例等)	■地方公務員法 教育公務員特例法 地方公務員特例法施行令 地方教育行政の組織及び運営に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体(実施主体となる団体等)	■出先機関						
6	事業の対象(対象とする人、対象数)	■堺市立学校園の教職員(令和3年5月1日現在4,332人)						
7	事業の目的(事業実施によりめざす状態)	■「強い情熱」「確かな力量」「総合的な人間力」をそなえた教職員の育成とともに、学校園全体としての「学校力」を高める。						
8	事業内容(目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■教職員の経験等に応じた指導力、マネジメント力等の向上を図る研修、および人権教育をはじめとする教育課題に対応する総合的な資質向上を図る研修を計画的、体系的に実施するとともに、自主研修を支援する。 ■各学校を巡回訪問し、採用1年次の初任者を中心に、3年次までの経験年数の少ない教員の指導や「堺版授業スタンダード」の徹底を図る専門指導員を配置する。 ■教育センターが作成した「校園内研修ガイドブック」や「堺版教師学び合いスタンダード」の効果的な活用を促し、研修主任を核とした校園内研修の充実を図る。 						
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	-						
10	公民連携・協働事業	-						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
	研修後のアンケート結果(研修内容における満足度調査)	%	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
		目標値	100	100	100	100
		実績値	97	-	-	-
	達成率	97%	-	-	-	
当該指標を選定した理由	研修終了後のアンケート調査を実施することで研修効果を測定し、事業成果を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法	研修アンケート「研修内容はあなたの期待や要望に応えたものか」において、強く思う、そう思うと答えた割合					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
	教職員研修の実施回数	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度	-
		目標値	200	202	202	-
		実績値	187	200	-	-
	達成率	94%	99%	-	-	
当該指標を選定した理由	教職員研修を実施することで、教職員の資質能力の向上を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法	前年度の実施研修回数から、アンケート結果・社会の情勢を踏まえ適正と考えられる回数					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	教職員研修	事業番号	038-067
-------	-------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	65,313	60,149	54,552	56,790	56,200
		国支出金			2,422	1,248	1,247
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	65,313	60,149	52,130	55,542	54,953

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		会計年度任用職員報酬 (枠外)	R3	予算	37,089	36,045	消耗品 (枠)	R3	予算	2,350	2,350
			R4	予算	37,220	36,176		R4	予算	1,621	1,621
		期末手当 (会計年度任用職員) (枠外)	R3	予算	4,635	4,509	普通旅費 (枠)	R3	予算	1,791	1,791
			R4	予算	4,643	4,517		R4	予算	1,708	1,708
		謝礼金 (枠)	R3	予算	3,441	3,441	会場借上料 (枠)	R3	予算	653	653
			R4	予算	3,723	3,723		R4	予算	555	555
		費用弁償 (その他) (枠)	R3	予算	3,039	3,039	教職大学院負担金 (枠)	R3	予算	282	282
			R4	予算	1,543	1,543		R4	予算	564	564
		費用弁償 (通勤費) (枠外)	R3	予算	2,808	2,730	その他	R3	予算	702	702
			R4	予算	2,808	2,731		R4	予算	1,815	1,815

債務負担行為		(単位：千円)	
15	期 間	R ~ R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校力の向上を図る校内研修の推進及び「学び続ける教職員」の育成に向けた研修の実施。(特に中学校授業改善に関わって) 働き方改革に沿った集合研修の内容・回数・回数の精査とともに、集合研修のみならず動画配信型研修・オンライン研修を組み合わせたよりよい研修実施方法の選択および学校園の課題、ニーズに応じた研修実施。
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ R3までの取り組みを進めるとともに、学校管理職のマネジメント力の向上、ミドルリーダー育成のための研修体制の構築・研究を進め、実施 (試行的な実施分も含む) する。
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ R4までの取り組みを進めるとともに、学校管理職のマネジメント力の向上、ミドルリーダー育成における研修の検証を進めつつ改善を図る。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新たな社会に対応できる教職員を育成するために大学や民間企業等との連携を進めた教職員研修の実施及び研修開発にかかるその他 (負担金など) の予算額増 ■ 探究的な学び、課題解決型学習の実現、推進に向けた研修の実施にかかる謝礼金の予算額増 ■ 養成・採用・育成の一貫した初任者・若手教員の育成及び働き方改革に沿った研修のデジタルアーカイブ化の推進のため専門指導員等の活用に係る予算増 ■ 指導的立場の教員を育成する連合教職大学院への教員派遣にかかる予算額増
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他				
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業				
事務事業名	幼稚園管理運営事業 (教育センター)	事業番号	038-114			
担当部署名	教育委員会事務局	局	教育センター	部	能力開発課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②多様で質の高い教育・保育サービスの提供			
		有・無	指標名	保育所等待機児童数				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2	
		寄与するKPI	有	取組	幼児教育・保育施設の待機児童解消に向けた受入枠の確保			
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		

2 関連計画	■ 未来をつくる堺教育プラン、堺市子ども・子育て総合プラン		
3 事業開始年度	平成 23 年度	点検年度	令和 7 年度
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)	■ 堺市立幼稚園預かり保育実施要綱		

事業の概要

5 事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 出先機関
6 事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■ 実施園 (6園) に在籍する幼児及び保護者。※令和4年度は327人予定
7 事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 幼児教育の充実、子育て支援の充実を図るため
8 事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■ 堺市立幼稚園6園において、教育課程に係る教育時間の終了後等に、希望する在園児を対象に預かり保育を実施する。
9 主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—
10 公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 預かり保育延べ利用者数	人	目標値	4,000	13,500	10,000	11,000		
		実績値	2,902	8,900				
		達成率	73%	66%				
		当該指標を選定した理由	利用者数が多くなれば、子育て支援の充実につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	令和4年度：6園の利用の対象となる在園児数や前年度実績等を踏まえた上で算出 令和7年度：実施園が4園となり、利用の対象となる在園児数等を踏まえた上で算出							
12 活動指標(成果を上げるための手段)	日	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度	
		目標値	226	236	228			
		実績値	178	217				
		達成率	79%	92%				
当該指標を選定した理由	利用希望者が利用できる日数を確保する必要があるため							
目標値の設定根拠・算出方法	堺市立幼稚園預かり保育実施要綱に基づいた各園の実施予定日数の平均							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	幼稚園管理運営事業（教育センター）	事業番号	038-114
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	5,280	5,217	9,160	13,043	14,188
	国支出金	1,596	1,563	1,645	3,707	3,176
	府支出金	1,596	1,563	1,645	3,707	3,176
	市債					
	その他（預かり保育料）	2,088	1,601	1,439	5,629	5,050
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	0	490	4,431	0	2,786

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	会計年度任用職員報酬	R3	予算	10,957	0	閉園対応臨時	R3	予算	0	0
		R4	予算	11,506	104		R4	予算	624	624
	費用弁償（通勤費）	R3	予算	2,028	0		R3	予算		
		R4	予算	2,028	2,028		R4	予算		
	普通旅費（枠）	R3	予算	9	0		R3	予算		
		R4	予算	9	9		R4	予算		
	消耗品費（枠）	R3	予算	38	0		R3	予算		
		R4	予算	10	10		R4	予算		
	手数料（枠）	R3	予算	11	0		R3	予算		
		R4	予算	11	11		R4	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	■ 研究実践園 4 園（津久野・三国丘・みはら大地・白鷺）での実施、及び従来のモデル園（北八下・八田荘）での実施
	R4	■ 研究実践園 4 園（津久野・三国丘・みはら大地・白鷺）での実施、及び従来のモデル園（北八下・八田荘）での実施
	R5以降	■ R 5 年度からは、研究実践園 4 園のみ実施。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 6 園での預かり保育実施に必要な人件費等を要求する。また、令和 4 年度末をもって閉園する 4 園の臨時の運営経費として合同行事や閉園業務に必要な経費を計上する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他	
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	触松社会教育会館管理運営	事業番号	038-069
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援
		部	地域教育振興
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	生涯を通じた学びの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	—					
3	事業開始年度	昭和 63 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■堺市立触松社会教育会館条例、堺市立触松社会教育会館管理運営規則、 ■堺市立触松社会教育会館使用料規則 					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■会館の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等(約83万人)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、同和問題をはじめあらゆる人権問題の速やかな解決をめざし、文化活動を通して市民の教養と文化の向上に資することを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■触松社会教育会館の維持管理及び会議室・和室の貸室					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	■公益財団法人 堺市就労支援協会					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11	件	目標値	80	80	80	95		
		実績値	72	50	80			
		達成率	90%	63%	63%			
		当該指標を選定した理由	数値化できる利用状況を見る指標として受付件数が適当であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		従来の利用状況を元に設定。令和3年度緊急事態宣言発出による休館期間を勘案						
12	人	目標値	930	930	930	930		
		実績値	835	340	340			
		達成率	90%	37%	37%			
		当該指標を選定した理由	利用目的別の状況の整理もしているが、数値化できるものとして利用人数が成果の一つとして考えられるため					
目標値の設定根拠・算出方法		従来の利用状況を元に設定。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	舢松社会教育会館管理運営	事業番号	038-069
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	3,229	3,306	3,236	3,146	3,257
13 財源内訳					
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)	92	94	88	94	92
一般財源	3,137	3,212	3,148	3,052	3,165

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	消耗品費	R3	予算	3	3	施設清掃等委託料 (清掃業務)	R3	予算	801	801
		R4	予算	19	19		R4	予算	823	823
	使用料(電気+水道+ガス)	R3	予算	712	618	施設警備等委託料 (機械警備)	R3	予算	238	238
		R4	予算	707	615		R4	予算	238	238
	修繕料	R3	予算	5	5	その他の施設維持管理・運転等委託料 (防虫+樹木剪定)	R3	予算	65	65
		R4	予算	5	5		R4	予算	65	65
手数料 (一般廃棄物処理)	R3	予算	65	65	各種検査・測定等委託料 (受水槽清掃業務)	R3	予算	44	44	
	R4	予算	65	65		R4	予算	44	44	
施設保守点検等委託料 (EV+防災設備+自動ドア+建物等)	R3	予算	769	769	受付及び使用料徴収業務	R3	予算	444	444	
	R4	予算	835	835		R4	予算	456	456	

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適切な舢松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適切な舢松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 適切な舢松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 円滑な貸室業務を行えるように、適切な維持管理を行なう。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他	
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	青少年センター図書室運営	事業番号	038-070
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援
		部	地域教育支援
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進			
			有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		寄与するKPI	有	取組	生涯を通じた学びの支援			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	昭和 57 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 図書室の使用については、使用の許可、使用料等に関する除き、堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例及び堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例施行規則に準ずる。 ■ 図書室の運営については、堺市立図書館管理運営規則及び堺市立図書館各種要綱・基準等に準ずる。 						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	■ 堺市民等 (約83万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 図書情報サービスを提供することにより、青少年をはじめ、広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「図書館情報ネットワークシステム」を利用して一体的・効率的な図書の貸出・返却を行うとともに、ブックフェア等を実施している。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度	
						令和2年度
11 年間個人貸出者数	人	目標値	21,000	21,000	21,000	21,000
		実績値	21,645	20,182		
		達成率	103%	96%		
		当該指標を選定した理由	図書貸出が主要業務であるため、年間個人貸出者数に図書室の事業成果・活動実績が反映するから			
		目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績から設定			
12 利用者からのレファレンス・問合せ件数	回	実績	—	1,900	2,000	
		実績見込み	—	2,010		
		目標	—	106%		
		達成率	—	106%		
		当該指標を選定した理由	利用者からのレファレンス・問合せへの対応内容として、利用者に対する本に関する情報の提供が含まれており、親切・丁寧な対応を職員が心がけることで、その件数の増加ひいては個人貸出者数の増加につながるから。			
		目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績から設定			

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	青少年センター図書室運営	事業番号	038-070
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト (単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	8,808	9,054	10,462	11,299	11,514
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	8,808	9,054	10,462	11,299	11,514

事業費の内訳 (単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	会計年度任用職員報酬	R3	予算	7,693	7,693	青少年センター施設維持管理費 等負担金	R3	予算	400	400
		R4	予算	7,920	7,920		R4	予算	400	400
	期末手当 (関係年度任用職員)	R3	予算	1,659	1,659		R3	予算		
		R4	予算	1,676	1,676		R4	予算		
	費用弁償 (通勤費)	R3	予算	1,096	1,096		R3	予算		
		R4	予算	1,095	1,095		R4	予算		
	消耗品費 (枠)	R3	予算	343	343		R3	予算		
		R4	予算	327	327		R4	予算		
通信運搬費 (枠)	R3	予算	108	108		R3	予算			
	R4	予算	96	96		R4	予算			

債務負担行為 (単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	■ 図書室の円滑な運営
	R4	■ 図書室の円滑な運営
	R5以降	■ 図書室の円滑な運営

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 利用者に対し円滑に図書情報サービスを提供できるよう、青少年センター図書室を運営する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	小学校施設開放事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務 局 地域教育支援 部	事業番号	038-071
		地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有・無	無	取組の方向性			⑥生涯学習の推進
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	有	指標名			
		寄与するKPI	有・無	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	■第3期未来をつくる堺教育プラン、■子ども・子育て支援事業計画
3	事業開始年度	昭和 45 年度 終了(予定)年度 令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■社会教育法第44条 ■スポーツ基本法第13条 ■堺市立学校の施設開放に関する規則 ■堺市立学校の施設開放に関する要綱

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■主に校区児童を対象とした団体（構成員が10人以上で、その過半数が開放学校の校区住民であること等の要件を満たすもの）で、スポーツ活動や文化活動を目的とするもの。（615団体/令和2年度実績）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■小学校児童をはじめとする子どもの健全育成を図ること。 ■地域住民の健康維持と体力増進を図ること。 ■生涯学習の推進、地域コミュニティの活性化を図ること。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■学校教育活動に支障のない範囲内で小学校施設の開放を行う。 ■事業の運営は校区の団体等から選出された方々で構成された学校施設開放運営委員会に委託している。 ■施錠の確認や利用団体の安全管理指導等のために、校長及び運営委員会から推薦を受けた管理指導員を配置している。
9	主な支出先 (委託、補助金・負担金等)	■小学校施設開放運営委員会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度			
延べ利用人数	人	目標値	510,000	340,000	600,000	600,000			
		実績値	334,213	340,000					
		達成率	66%	100%					
11	当該指標を選定した理由		利用人数は、小学校児童をはじめとする子どもの健全育成や、地域住民の健康維持と体力増進、生涯学習の推進、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とする本事業の達成状況を図るための指標となるため。						
11	目標値の設定根拠・算出方法		令和4年度の目標値は、今後新型コロナウイルスの感染拡大は一定抑制されると見込まれることから、利用人数がコロナ禍前の令和元年度実績値並になるものと見込む。 令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和2年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値（610,000人）から△2.7%の減少を見込む。 ※令和3年度の実績値は、前年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により開放事業を中止しており、再開後も一部利用を抑制しているため、利用人数は令和2年度実績値並みとなる見込み。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	登録利用団体数	回	実績		実績見込み		目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
				目標値	650	630	630		
	実績値	615	587						
	達成率	95%	93%						
12	当該指標を選定した理由		登録利用団体数は、スポーツ活動を促進し、地域住民の健康維持と体力増進を図ることを目的とする本事業の活動状況を図るための指標となるため。						
12	目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定。 ※令和3年度の実績値は、令和3年10月時点の暫定値。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	小学校施設開放事業	事業番号	038-071
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)										
13	財源内訳	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			決算		決算		決算		予算		予算要求	
		事業費 (a)	29,912		28,235		13,770		19,001		18,303	
		国支出金										
		府支出金										
		市債										
		その他 ()										
		受益者負担金(使用料、手数料等)										
		一般財源	29,912		28,235		13,770		19,001		18,303	
事業費の内訳		(単位：千円)										
14	事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	
			R3	予算				R3	予算			
		謝礼金 (枠)	R3	予算	15,340	15,340	学校施設開放事業運営業務委託料	R3	予算	2,762	2,762	
			R4	予算	14,352	14,352		R4	予算	2,762	2,762	
		消耗品 (枠)	R3	予算	107	107		R3	予算			
			R4	予算	126	126		R4	予算			
		印刷製本費 (枠)	R3	予算	422	422		R3	予算			
			R4	予算	693	693		R4	予算			
		施設等修繕料 (枠)	R3	予算	181	181		R3	予算			
			R4	予算	181	181		R4	予算			
		通信運搬費 (枠)	R3	予算	189	189		R3	予算			
			R4	予算	189	189		R4	予算			
債務負担行為		(単位：千円)										
15	期間	R ~ R				要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会議室等校舎内施設の機械警備分岐工事の一部実施 ■ 職員による学校施設開放利用状況調査の実施
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会議室等校舎内施設の機械警備分岐工事の継続、会議室等校舎内施設の開放利用の一部再開 ■ 職員による学校施設開放利用状況調査の実施
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会議室等校舎内施設の機械警備分岐工事完了に伴う、会議室等校舎内施設の開放利用の再開 ■ 職員による学校施設開放利用状況調査の実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みつつ、学校施設開放の利用を促進 (運動場、体育館、会議室等校舎内施設) ■ 会議室等校舎内施設の機械警備分岐工事の継続実施
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	中学校施設開放事業	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務 局 地域教育支援 部	事業番号	038-072
			地域教育振興 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与するKPI	有・無	無	取組の方向性	⑥生涯学習の推進	指標名	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	有	取組	生涯を通じた学びの支援	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	無	取組	生涯を通じた学びの支援	ターゲット	4.7
2 関連計画		■ 第3期未来をつくる堺教育プラン						
3 事業開始年度		昭和 40 年度		終了(予定)年度		令和 7 年度		
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育法第44条 ■ スポーツ基本法第13条 ■ 堺市立学校の施設開放に関する規則 ■ 堺市立学校の施設開放に関する要綱 						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■ 構成員が10人以上で、その過半数が開放中学校の校区住民であること等の要件を満たした団体で、スポーツ活動を目的とするもの。(514団体/令和2年度実績)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ スポーツ活動を通して、地域住民の健康維持と体力増進及び地域コミュニティの活性化を図ること。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校教育活動に支障のない範囲内で、中学校体育施設(体育館・運動場)の開放を行う。 ■ 夜間照明施設が設置された中学校(43校中27校)においては、運動場の夜間開放を実施している。 ■ 事業の運営は、校区の団体等から選出された方々で構成された学校施設開放運営委員会に委託している。 ■ スポーツ活動その他の生涯学習を主な目的とする団体を対象とした事業であり、地域の実情に応じた運営を行っている。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■ 中学校施設開放運営委員会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績			
			令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了(予定)年度 令和7年度
	延べ利用人数	人	158,000 目標値	87,000 実績値	164,000 目標値	162,000 実績値
			90,125 達成率	90,000 103%		
	当該指標を選定した理由	利用人数は、スポーツ活動を促進し、地域住民の健康維持と体力増進を図ることを目的とする本事業の達成状況を図るための指標となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和2年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値(166,000人)から△2.7%の減少を見込む。令和4年度の目標値は、令和2年度のコロナ禍の影響を除外した元の目標値(166,000人)から年間平均減少分(800人)の2年間分を見込み164,400人となることから算出。 ※令和3年度の実績値は、本事業の利用中止の影響が令和2年度と同程度と見込み算出。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	の	実績			
			令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	
	登録利用団体数	団体	450 目標値	530 実績値	530 目標値	
			514 達成率	466 88%		
	当該指標を選定した理由	登録利用団体数は、スポーツ活動を促進し、地域住民の健康維持と体力増進を図ることを目的とする本事業の活動状況を図るための指標となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績から設定。				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	中学校施設開放事業	事業番号	038-072
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)							
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			決算	決算	決算	予算	予算要求		
		事業費 (a)	11,825	2,881	1,976	7,064	7,257		
		国支出金							
		府支出金							
		市債							
		その他 ()							
		受益者負担金(使用料、手数料等)				603	1,809		
		一般財源	11,825	2,881	1,976	6,461	5,448		
事業費の内訳		(単位：千円)							
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
		電気使用料 (枠)	R3	予算 310	0	出島市民運動場樹木剪定業務委託料	R3	予算 248	248
			R4	予算 310	0		R4	予算 248	248
		施設等修繕料 (枠)	R3	予算 4,932	4,639	中学校施設開放事業運営業務委託料	R3	予算 1,329	1,329
			R4	予算 4,932	3,433		R4	予算 1,383	1,383
		水道使用料 (枠)	R3	予算 24	24	謝礼金 (枠)	R3	予算 62	62
			R4	予算 24	24		R4	予算 62	62
		印刷製本費 (枠)	R3	予算 50	50	普通旅費 (枠)	R3	予算 10	10
			R4	予算 50	50		R4	予算 10	10
		通信運搬費 (枠)	R3	予算 46	46	夜間照明設備利用確認業務委託料	R3	予算 53	53
			R4	予算 79	79		R4	予算 159	159
債務負担行為		(単位：千円)							
15	期間	R ~ R		要求額					

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜間照明施設の老朽化対策として修繕工事及び建替の検討の継続実施 ■ 職員による定期点検の実施 ■ 夜間照明施設の利用に係る電気代相当額の徴収の開始
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜間照明施設の老朽化対策として修繕及び建替の検討の継続実施 ■ 職員による夜間照明施設の定期点検の継続実施 ■ 夜間照明施設の利用に係る電気代相当額の徴収の継続実施
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 夜間照明施設の老朽化対策として修繕及び建替の検討の継続実施 ■ 夜間照明施設のあり方の検討

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染防止対策に取り組みつつ、学校施設開放の利用を促進 (運動場、体育館) ■ 夜間照明施設の利用に係る電気代相当額の徴収の継続実施 ■ 夜間照明施設の修繕の継続実施
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他			
		事務事業分類	A 一般事務事業			
事務事業名	地域学校協働活動推進事業		事業番号	038-073		
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		有	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	生涯を通じた学びの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—		目標値	—			

事業の概要

2	関連計画	■第3期末未来をつくる堺教育プラン、堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市生涯学習支援計画		
3	事業開始年度	平成 19 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法第10条、第13条 ■社会教育法第3条第3項、第5条第7号		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■教育委員会事務局		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺市民等 (約83万人)		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するため、学びによるまちづくりや地域人材の育成を通じて、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■地域学校協働活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の理解促進に関する啓発の実施 ・地域学校協働活動を担う、堺版コミュニティ・スクールのコーディネーターや教職員を対象とした講座の開催や人材育成の実施 ■家庭教育支援に関する情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の学びを支援する学習会に対する講師紹介及び学習テーマについての情報提供等の支援 ■関西大学と連携した家庭教育支援の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・堺市と関西大学との地域連携事業として、写真を通じた大人と子どものコミュニケーションにつながる講座の実施 		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■講師謝礼金 (地域コーディネーター育成講座等)		
10	公民連携・協働事業	■学校園や地域での自主的な学習機会の支援については、教育CSR推進事業「企業による学びの応援プログラム」と連携し、は企業・NPO法人・各種団体等が実施する地域貢献活動を活用するプログラムを提供している。		

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	
						令和2年度
11 地域コーディネーター養成研修への年間延べ参加人数	人	目標値	35	110	120	
		実績値	-	102	-	
		達成率	-	291%	-	
当該指標を選定した理由		地域の実情や特性に応じた地域学校協働活動の活性化には「地域コーディネーター」の存在が不可欠であり、その資質向上を行うことが、地域の活性化や学校支援活動、家庭教育支援の推進につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値：5人×各区				
12 活動指標(成果を上げるための手段) 企業による学びの応援プログラム参加者数	人	実績	実績見込み	目標		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		目標値	1,050	3,000		8,000
		実績値	2,441	7,500		-
達成率	232%	250%	-			
当該指標を選定した理由		教育CSR推進事業「企業による学びの応援プログラム」の活用は、学校園における教育活動の支援や地域における地域学校協働活動の活性化を定量的に評価できると考えられるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定。				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	地域学校協働活動推進事業	事業番号	038-073
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	669	154	48	687	434
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他 ()	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	669	154	48	687	434

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		■謝礼金	R3	予算	181	181		R3	予算		
			R4	予算	203	203		R4	予算		
		■旅費	R3	予算	212	212		R3	予算		
			R4	予算	98	98		R4	予算		
		■需用費(消耗品費等)	R3	予算	233	233		R3	予算		
			R4	予算	81	81		R4	予算		
		■保険料	R3	予算	30	30		R3	予算		
			R4	予算	6	6		R4	予算		
		■その他使用料及び賃借料	R3	予算	31	31		R3	予算		
			R4	予算	46	46		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、出前講座の実施など、PTA、子ども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動への支援を実施した。 ■ 関西大学との地域連携事業として、未就学児の保護者を対象とした写真セミナーを実施した。 ■ 市民人権局（生涯学習課）と連携し、学校教職員や地域コーディネーターを対象とした「地域コーディネーター育成講座（全7回）」を開催した。 ■ 子ども青少年局（子ども育成課）と連携し、青少年指導員を対象とした地域と学校の連携に関する講座を実施した。（北区・南区）
16 R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、出前講座の実施など、PTA、子ども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動への支援を行う。 ■ 関西大学との地域連携事業として、未就学児の保護者を対象とした写真セミナーを実施する。 ■ 学校教職員や地域コーディネーターを対象とした「地域コーディネーター育成講座」を開催予定。 ■ 他部局と連携し、学校・家庭・地域の連携に資する講座を実施予定。
R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、出前講座の実施など、PTA、子ども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動への支援を行う。 ■ 学校教職員や地域コーディネーターを対象とした「地域コーディネーター育成講座」を開催予定。 ■ 他部局と連携し、学校・家庭・地域の連携に資する講座を実施予定。 ■ 学校指導課（学校指導課）が所管するCSコーディネーターを当課へ移管し、地域学校協働活動推進員として委嘱することにより、学校運営協議会（現在は「堺版コミュニティ・スクール」）と密接に連携し、地域学校協働活動を推進する体制を構築する。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域学校協働活動の推進のため、学校教職員やCSコーディネーターを対象とした、資質向上を目的としたための講座を開催する。 ■ 他部局と連携し、学校・家庭・地域の連携の向上に資する学習機会について講師の派遣等を行う。 ■ 地域学校協働活動や家庭教育支援の普及・啓発のため堺市ホームページの充実を図る。（予算無し） ■ 学校園における家庭教育支援の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、出前講座の実施など、PTA、子ども会等をはじめとした地域住民による自主的な学習活動への支援を行う。 ■ 関西大学の地域連携事業と連携し、未就学児の保護者を対象とした保護者支援を継続実施（令和4年度まで）
---------------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会教育関係団体支援事業	事業番号	038-075
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援
		部	地域教育振興
			課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本計画 2025	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進			
	有・無	指標名	—				
	無	現状値	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	生涯を通じた学びの支援			
無	指標名	—					
無	現状値	—					
2	関連計画	■第3期未来をつくる堺教育プラン、堺市子ども・子育て支援事業計画					
3	事業開始年度	昭和 24 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■社会教育法第10条、第11条及び第12条、堺市PTA教育振興事業補助金交付要綱、堺市子ども会育成協議会運営事業補助金交付要綱、堺市女性活躍振興事業補助金交付要綱					
事業の概要							
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺市PTA協議会、堺市子ども会育成協議会、堺市女性団体協議会 (3団体/令和3年度実績)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■PTAについては、各学校園PTA相互の連携に努め、PTA会員に対して学習の機会や情報を提供することにより、会員の資質向上及び家庭の教育力の向上を図るとともに、PTA活動の活性化のための支援及び指導・育成を図る。 ■子ども会については、堺市ブロック子ども会育成団体及び堺市小学校区子ども会育成団体との緊密な連携のもとに、堺市子ども会育成協議会の主体的な活動の支援及び指導等を図る。 ■女性活躍振興事業については、女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍できる環境の醸成を図る。 					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■PTAについては、堺市PTA協議会・校園種別等PTA協議会における研修会の開催を支援するとともに、広く泉北・堺市地区PTA協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会の情報提供を支援し、会員の資質向上を図る。 ■子ども会については、以下の堺市子ども会育成協議会の活動に対する支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化活動、交流事業等の異年齢間交流を通して、子どもたちがルールを守ること、お互いを思いやること等の社会規範を学ぶ。 ・ブロック別指導者研修会等により指導者・育成者としての資質向上及び意識啓発を図る。 ・ホームページの活用により、子ども会の魅力を発信する。 ■堺市内において、女性活躍の振興に資する事業を主体的かつ積極的に担う社会教育関係団体を支援する。 					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■堺市PTA協議会、堺市子ども会育成協議会 他					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				目標値	19,000	16,000	13,000
				実績値	15,660	12,669	18,500
	達成率	82%	79%				
	当該指標を選定した理由						
学校・家庭・地域の連携を図り、本市がめざす「横にひろがる教育」を推進することに対して、大きく寄与しているため。							
目標値の設定根拠・算出方法							
令和4年度の目標値は、前年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により本協議会の活動を一定期間中止していたため、加入者数は前年度実績値並となる見込み。 令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和2年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度の目標値から△2.7%の減少を見込む。 ※令和3年度の実績値は、令和3年6月時点の暫定値。							
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	回	実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				目標値	9	9	9
				実績値	0	5	
	達成率	0%	56%				
	当該指標を選定した理由						
イベントの開催数は、本協議会活動の活性化の指標であり、魅力あるイベントの開催は加入への動機づけにつながるものであるため。 ※令和3年度の実績値は、年度末までに開催予定のイベント数。							
目標値の設定根拠・算出方法							
前年度及び前々年度の目標値から設定。							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	社会教育関係団体支援事業	事業番号	038-075
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	決算	決算	決算	予算	予算要求	
事業費 (a)	9,259	8,754	4,510	8,505	8,488	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	9,259	8,754	4,510	8,505	8,488

事業費の内訳		(単位：千円)								
主な項目	年度	事業費		うち一般財源	主な項目	年度	事業費		うち一般財源	
		予算	決算				予算	決算		
14 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R3	予算	1,929	1,929	その他使用料及び賃借料 (枠)	R3	予算	4	4
		R4	予算	1,920	1,920		R4	予算	4	4
	期末手当 (会計年度任用職員)	R3	予算	407	407	研修会等参加負担金 (枠)	R3	予算	47	47
		R4	予算	399	399		R4	予算	47	47
	費用弁償 (通勤費)	R3	予算	156	156	PTA教育振興事業補助金	R3	予算	1,400	1,400
		R4	予算	156	156		R4	予算	1,400	1,400
	普通旅費 (枠)	R3	予算	65	65	子ども育成協議会運営事業補助金	R3	予算	2,891	2,891
		R4	予算	65	65		R4	予算	2,891	2,891
	有料道路通行料 (枠)	R3	予算	6	6	女性活躍振興事業補助金	R3	予算	1,600	1,600
		R4	予算	6	6		R4	予算	1,600	1,600

債務負担行為		(単位：千円)	
15	期間	R ~ R	要求額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16 R3まで	■より主体的な活動を行う社会教育関係団体としての意識改革や、より自立した活動促進に向けた支援。
R4	■社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿った活動になるよう支援。
R5以降	■継続して、社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿った活動になるよう支援。

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	■社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿った活動になるよう支援。
------------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	美原こども館管理 美原こども館健全育成		事業番号	038-078
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部
			美原こども館	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
		有	取組の方向性	③健やかな心身の育成					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7		
		有	取組	生涯を通じた学びの支援					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
無	現状値	—		目標値	—				

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	昭和 56 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■堺市立美原こども館条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■出先機関
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	■子ども (小学校に就学する児童及び小学校就学前の子どものこと。以下同じ。) 及びその保護者
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■子どもの体力の増進及び情操のかん養を図り、その健全な育成に資すること。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもに対して健全な遊びの場を提供する。 ・美原区内に4館を設置 (各館には再任用職員等1名、会計年度職員2名を配置) ・主催事業として、児童文化教室 (硬筆、茶道等) や各種行事 (あそびの会等) を実施 ・地域のクラブ、サークル (大人) の活動の場も提供 (子どもの活動を妨げない範囲)
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■施設修繕施工業者
10	公民連携・協働事業	■校区福祉委員会との協働事業として毎年、各館3回ずつ世代間交流事業を実施

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 利用者数	人	目標値	30,000	20,000	20,000	20,000		
		実績値	13,404	15,000				
		達成率	45%	75%				
		当該指標を選定した理由	当該数値がこども館事業成果や実績全体を最も可視化できるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		各事業参加者数の総計 (新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し目標値設定)						
12 児童文化教室の開催数	回	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度	
		目標値	200	150	150			
		実績値	118	140				
		達成率	59%	93%				
当該指標を選定した理由		こども館の主たる事業のひとつであるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		各教室開催数の総計 (新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し目標値設定)						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	美原こども館管理 美原こども館健全育成	事業番号	038-078
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	43,036	67,256	35,475	41,525	39,860
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	43,036	67,256	35,475	41,525	39,860

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		会計年度職員報酬	R3	予算	22,873	22,873	施設警備等委託料	R3	予算	462	462
			R4	予算	20,868	20,868		R4	予算	462	462
		期末手当 (会計年度職員)	R3	予算	4,217	4,217	ひらお周辺水路清掃業務等	R3	予算	968	968
			R4	予算	3,960	3,960		R4	予算	979	979
		費用弁償	R3	予算	2,032	2,032	謝礼金	R3	予算	1,440	1,440
			R4	予算	1,876	1,876		R4	予算	1,440	1,440
		施設修繕料	R3	予算	2,622	2,622	その他 (消耗品等)	R3	予算	5,533	5,533
			R4	予算	2,500	2,500		R4	予算	5,302	5,302
		施設清掃業務等	R3	予算	1,378	1,378		R3	予算		
			R4	予算	2,473	2,473		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■各こども館において、あそびの会や児童文化教室など主催事業の実施。施設の維持管理業務。
	R4	■継続実施
	R5以降	■継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>■美原こども館では、地域子ども達が自由に安全で安心して遊べる場として、遊びやスポーツを通じた仲間づくりや地域住民との世代間交流等の促進に努めている。なかでも児童文化教室 (茶道、書道、硬筆) の実施は、子どもの健全育成のために継続して実施することが必要であるので、講師謝礼金等確保が必要。また、施設を安全、快適に利用者で使用してもらうための維持管理費用も必要な予算である。</p>
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	放課後子ども総合プラン事業	事業番号	038-079
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援
		部	放課後子ども支援
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		有	取組の方向性	③学齢期・青少年期子ども・若者と家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	現状値	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)
		有	無	取組	—	ターゲット	—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	
		有	無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	■堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	令和 - 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■児童福祉法、堺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、放課後子ども総合プラン事業実施要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■堺市					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	<ul style="list-style-type: none"> ■のびのびルーム：小学校1年生から6年生までの就労家庭児童1,405名（令和3年5月1日現在） ■すくすく教室：小学校1年生から6年生までの利用を希望する全ての児童1,927名（令和3年5月1日現在） 					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■本事業を実施していくことで、待機児童の解消等の課題解決や保護者ニーズへの対応に向けた新たな放課後施策を構築し、子育て支援の充実・強化を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■実施校数：21校（令和3年4月時点） ■のびのびルーム（厚生労働省所管の「放課後児童クラブ」） <ul style="list-style-type: none"> ・開設時間：月曜日～金曜日（放課後～午後6時30分）、土曜日・長期休業中（午前8時～午後6時30分） （利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長） ・負担金：月額8,000円、（利用時間延長制度利用者は、時間延長一部負担金として、別途月額1,000円） （ともに減免制度あり） ■すくすく教室（文部科学省所管の「放課後子供教室」） <ul style="list-style-type: none"> ・開設時間：月曜日～金曜日（放課後～午後5時）、土曜日・長期休業中（午前9時～午後5時） ・負担金：月額4,000円（8月のみ6,000円）（減免制度あり） 					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	■(株)セリオ、(株)CLC、(株)トライグループ、(特非)ピュア・ハート御池					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	—
11 待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
		実績値	0	—	—	—
		達成率	100%	—	—	—
当該指標を選定した理由	放課後児童対策等事業における待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法	待機児童を発生させないことを目標として、活動場所の確保等を行っている。					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 保護者アンケートの利用評価における「満足」「おおむね満足」の割合	%	目標値	100	100	100	—
		実績値	94	—	—	—
		達成率	94%	令和4年1月公表予定	—	—
		当該指標を選定した理由	利用する保護者にとって放課後児童対策等事業の満足度を調査し、事業評価を行うため。			
目標値の設定根拠・算出方法	毎年度、放課後児童対策等事業の利用保護者向けに実施しているアンケートの利用満足度である。					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	放課後子ども総合プラン事業	事業番号	038-079
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			526,465	551,788	600,258	811,547	865,793
		国支出金	106,247	113,335	162,470	173,538	172,159
		府支出金	74,281	74,594	91,696	113,864	103,310
		市債	0	0	0	0	0
		その他 ()	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	185,115	188,662	142,224	210,388	232,199
		一般財源	160,822	175,197	203,868	313,757	358,125

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		放課後子ども総合プラン事業運営業務	R3	予算	806,094	309,707	手数料 (枠)	R3	予算	363	243
			R4	予算	860,896	354,248		R4	予算	363	243
		消耗品費 (枠)	R3	予算	527	527	消耗品費【コロナ対応】	R3	予算	303	0
			R4	予算	1,761	1,301		R4	予算	302	302
		その他備品購入費 (枠)	R3	予算	1,865	1,245	印刷製本費 (枠)	R3	予算	391	327
			R4	予算	675	451		R4	予算	240	240
		小学校冷暖房機及び空調設備保守点検業務	R3	予算	894	598	施設等修繕料(枠)	R3	予算	170	170
			R4	予算	653	437		R4	予算	170	170
		通信運搬費 (枠)	R3	予算	610	610	その他	R3	予算	330	330
			R4	予算	610	610		R4	予算	123	123

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	■ 21校で実施
	R4	
	R5以降	■ 21校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保
----	---------	-------------------------

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	放課後児童対策事業 (のびのびルーム)	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務 局	事業番号	038-081
	地域教育支援 部		放課後子ども支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数			
		寄与するKPI	有	現状値	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)	
		有・無	目標	—	ターゲット	—		
		無	取組	—				
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		

2 関連計画 ■堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン

3 事業開始年度 平成 9 年度 終了(予定)年度 令和 - 年度

4 実施根拠 (根拠法令、条例等) ■児童福祉法、堺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、堺市放課後児童対策事業実施要綱

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■当該小学校に在籍または校区に在住の小学校1年生から6年生までの就労家庭等児童6,855名(令和3年5月1日現在)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■本事業は、小学校に就学している留守家庭児童等の放課後における健全な育成、また児童が安全に過ごすことのできる環境を実現し、保護者が安心して就労できるようにすることで、子育てを支援することを目的に実施している。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>■実施校数：71校(令和3年4月時点)</p> <p>■開設時間：月曜日～金曜日(放課後～午後6時30分)、土曜日・長期休業中(夏季休業中含む)(午前8時～午後6時30分)(利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長)</p> <p>■負担金：月額8,000円(利用時間延長制度利用者は、時間延長一部負担金として、別途月額1,000円)(ともに減免制度あり)</p>
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	■(公財)堺市教育スポーツ振興事業団、(株)CLC、(株)明日葉
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	—
11	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
			実績値	0			
			達成率	100%			
	当該指標を選定した理由	放課後児童対策等事業における待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	待機児童を発生させないことを目標として、活動場所の確保等を行っている。					
12	活動指標(成果を上げるための手段) 保護者アンケートの利用評価における「満足」「おおむね満足」の割合	%	実績		実績見込み	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	100	100	100	
			実績値	92	令和4年1月公表予定		
	達成率	92%					
	当該指標を選定した理由	利用する保護者にとって放課後児童対策等事業の満足度を調査し、事業評価を行うため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	毎年度、放課後児童対策等事業の利用保護者向けに実施しているアンケートの利用満足度である。					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	放課後児童対策事業 (のびのびルーム)	事業番号	038-081
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	1,261,367	1,245,083	1,712,238	1,889,454	1,788,425
		国支出金	253,012	278,395	564,812	438,750	398,542
		府支出金	240,844	240,681	469,991	438,407	398,542
		市債	0	0	0	0	0
		その他 (子ども教育ゆめ基金繰入金)	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	530,395	517,837	388,692	567,446	640,672
		一般財源	237,116	208,170	288,743	444,851	350,669

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源
		放課後児童対策事業 (のびのび ルーム) 管理運営業務	R3	予算	1,872,701	435,087	その他備品購入費 (枠)	R3	予算	3,760	1,254
			R4	予算	1,772,909	340,881		R4	予算	1,425	475
		消耗品費 (枠)	R3	予算	1,248	1,248	消耗品費【コロナ対応】	R3	予算	1,023	0
			R4	予算	3,760	1,614		R4	予算	1,020	1,020
		手数料 (枠)	R3	予算	2,576	1,754	その他使用料及び賃借料 (枠)	R3	予算	660	320
			R4	予算	2,576	1,754		R4	予算	660	320
		通信運搬費 (枠)	R3	予算	2,665	2,665	施設等修繕料(枠)	R3	予算	670	670
			R4	予算	2,483	2,483		R4	予算	670	670
		小学校冷暖房機及び空調設備 保守点検業務	R3	予算	3,023	1,009	その他	R3	予算	1,128	844
			R4	予算	2,207	737		R4	予算	715	715

債務負担行為		(単位：千円)		
15	期 間	R	～ R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで R4 R5以降	<p>■ 71校で実施</p> <p>■ 71校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)</p>

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>■ 利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保</p>
----	---------	--------------------------------

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	放課後ルーム事業		事業番号	038-084		
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	放課後子ども支援	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援			
		有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)	
		寄与するKPI	有	現状値	—	ターゲット	—	
		有・無	指標名	—	—	—	—	
2	関連計画	■堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 17 年度	終了(予定)年度	令和 - 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■堺市放課後ルーム事業実施要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■堺市						
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	■開設小学校区に在住している4年生から6年生の児童257名 (令和3年5月1日現在)						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■放課後ルーム事業は4年生から6年生の高学年児童を対象に、放課後等に学校の図書室、多目的室等を活用し、学習アドバイザーや指導員とともに宿題などの自主学習を継続的に行うことで児童の学習の習慣づけを図る。また、様々な体験プログラムの実施により、児童の意欲や関心の向上をめざしている。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■実施校数：6校 (令和3年4月時点) ■開設時間：月曜日～金曜日 放課後から午後6時まで。土曜日・長期休業期間午前9時～午後6時まで。夏季休業中は午前8時30分～午後6時 (利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長) ■負担金4,000円 (8月のみ6,000円)、減免制度なし						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■(株)トライグループ、新湊小学校放課後ルーム運営委員会						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み		目標	目標 終了(予定)年度	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	—	
11 待機児童数	人	目標値	0	0	0	0	
		実績値	0				
		達成率	100%				
		当該指標を選定した理由	放課後児童対策等事業における待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法	待機児童を発生させないことを目標として、活動場所の確保等を行っている。						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 保護者アンケートの利用評価における「満足」「おおむね満足」の割合	%	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度
		目標値	100	100	100		
		実績値	98				
		達成率	98%	令和4年1月公表予定			
当該指標を選定した理由	利用する保護者にとって放課後児童対策等事業の満足度を調査し、事業評価を行うため。						
目標値の設定根拠・算出方法	毎年度、放課後児童対策等事業の利用保護者向けに実施しているアンケートの利用満足度である。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	放課後ルーム事業	事業番号	038-084
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	119,380	122,137	103,318	117,995	102,924
13 財源内訳					
国支出金	16,787	15,270	16,038	19,751	14,704
府支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
その他 ()	0	0	0	0	0
受益者負担金(使用料、手数料等)	27,025	21,787	11,918	18,514	15,822
一般財源	75,568	85,080	75,362	79,730	72,398

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費		うち一般財源	主な項目	年度		事業費		うち一般財源
		R3	予算	R4	予算			R3	予算	R4	予算	
14	放課後ルーム事業運営業務	R3	予算	116,838	78,660	委託業者選定委員会外部委員出務報酬	R3	予算	123	123		
		R4	予算	101,724	71,198		R4	予算	123	123		
	通信運搬費 (枠)	R3	予算	350	350	消耗品費【コロナ対応】	R3	予算	87	0		
		R4	予算	350	350		R4	予算	79	79		
	物品等修繕料 (枠)	R3	予算	244	244	印刷製本費 (枠)	R3	予算	11	11		
		R4	予算	244	244		R4	予算	62	62		
	手数料 (枠)	R3	予算	218	218		R3	予算				
		R4	予算	218	218		R4	予算				
	消耗品費 (枠)	R3	予算	124	124		R3	予算				
		R4	予算	124	124		R4	予算				

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	■ 6校で実施
	R4	
	R5以降	■ 4校で実施(学校区により異なる複数の放課後児童対策事業について、制度の統一化を図る)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 利用予測に基づく全ての組織分の運営費を確保
----	---------	-------------------------

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	食育推進事業		事業番号	038-087		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理部	部	学校給食	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		有	取組の方向性	③健やかな心身の育成			
		寄与するKPI	有・無	指標名	-		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	-	ターゲット	-
		有	取組	-			
		寄与するKPI	有・無	指標名	-		
2	関連計画	■第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 22 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■学校給食法・食育基本法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒63,583人 (R3.5.1時点) および保護者					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校・家庭・地域が連携した食育の推進を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■小・中学校への食通信の配付や食育フェアを開催し、学校給食の役割や食育の大切さについて児童生徒や保護者・市民に普及啓発する。また、教職員や保護者・市民を対象に食育講演会を開催し、広く食育の推進を図る。					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	-					
10	公民連携・協働事業	-					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和7年度	点検年度
11 朝食を毎日食べる児童の割合 (小6)	%	100	100	100	100	100
		-	84.5	-	-	-
		-	85%	-	-	-
当該指標を選定した理由		第3期未来をつくる堺教育プランの指標として同指標を設定しているため。				
目標値の設定根拠・算出方法		令和元年度は全国学力・学習状況調査堺市結果。令和2年度は調査なし。				
12 活動指標(成果を上げるための手段) 食通信の発行 (年間11回)	回	11	11	11	-	-
		9	11	-	-	-
		82%	100%	-	-	-
当該指標を選定した理由		毎月定期的に食に関する内容を小学生の全保護者と全生徒に配付するとともに、ホームページに掲載し、食育の重要性を啓発しているため。				
目標値の設定根拠・算出方法		学校給食献立表の配付と合わせて月1回の配付とする。				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	食育推進事業	事業番号	038-087
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	364	235	161	262	241
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	364	235	161	262	241

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事業費内訳	食育フェア関連消耗品費	R3	予算	100	100		R3	予算		
		R4	予算	100	100		R4	予算		
	食育フェア関連印刷製本費	R3	予算	72	72		R3	予算		
		R4	予算	72	72		R4	予算		
	食育講演会会場借上料	R3	予算	67	67		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
食育フェア・食育講演会謝礼金	R3	予算	23	23		R3	予算			
	R4	予算	69	69		R4	予算			
		R3	予算			R3	予算			
		R4	予算			R4	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食育フェア・食育講演会の開催 ■ 効果的な食育事業の推進
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の継続
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の継続

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の継続実施に必要な経費を要求する。また、食育講演会については開催方法を見直すことで会場借上料を削減する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	高等学校（定時制の課程）給食運営事業	事業番号	038-088
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部
		部	学校給食課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
	無		現状値	—	目標値	—	—
	有・無		ゴール	—	ターゲット	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	取組	—	—	—
無			指標名	—	—	—	
寄与するKPI		有・無	現状値	—	目標値	—	—
	無	—	—	—	—	—	
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	昭和 32 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■ 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■ 堺市立堺高等学校（定時制）の生徒124人（R3.5.1時点）					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 定時制高等学校で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■ 定時制高等学校において、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11	%	目標値	100	100	100	100	
		実績値	95	88	—	—	
		達成率	95%	88%	—	—	
当該指標を選定した理由		修学支援という目的への貢献度を、生徒の満足度の観点から図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		補食給食のパンの内容（味）に満足している人の割合					
12	—	—	実績	実績見込み	目標	—	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			目標値	—	—		—
			実績値	—	—		—
当該指標を選定した理由		—					
目標値の設定根拠・算出方法		—					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	高等学校（定時制の課程）給食運営事業	事業番号	038-088
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
		事業費 (a)			1,613	1,235	546
		国支出金			5		
		府支出金					
		市債					
		その他（ 物品売払収入 ）			9	15	15
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	1,613	1,235	532	1,465	1,275

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
				パン・牛乳食糧費	R3	予算	1,480	1,465		R3	予算
		R4	予算		1,290	1,275		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期間	R	～	R	要求額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ 補食給食の提供
	R4	■ 補食給食の提供（継続）
	R5以降	■ 補食給食の提供（継続）

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 限られた休憩時間の中で、生徒が喫食しやすく内容を充実させた補食給食を提供し、生徒の空腹を解消して授業に集中できるよう支援する。 ■ 生徒へのアンケートなどから、可能な限り生徒のニーズを反映したパン内容とする。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他			
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	小学校給食事業		事業番号	038-089		
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部	部	学校給食課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
		無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—	—	—
寄与するKPI		有・無	指標名	—	—	—	
	無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	昭和 26 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■ 学校給食法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■ 堺市立小学校児童41,844人 (R3.5.1時点)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 堺市立小学校に在籍する児童に安全・安心な学校給食を提供することにより、児童の心身の健全な発達に寄与するものである。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	■ 堺市立小学校において給食を児童に提供している。給食調理業務は、すべての小学校において民間委託している。主な事業は、献立作成・物資調達・学校給食調理施設や設備の維持管理、給食用食器等・消耗品の調達、食材の検査や調理場内の衛生検査等である。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■ 委託業者・(公財) 堺市学校給食協会					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み	目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 給食を提供した数 (1日平均)	食	目標値	42,693	41,844	—	—	—	
		実績値	42,596	41,844	—	—	—	
		達成率	100%	100%	—	—	—	
		当該指標を選定した理由	小学校給食事業の達成状況を図るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		給食を提供した数						
12 活動指標(成果を上げるための手段)	—	実績	—	—	—	—	—	
		令和2年度	—	—	—	—	—	
		実績見込み	—	—	—	—	—	
		令和3年度	—	—	—	—	—	
当該指標を選定した理由		—						
目標値の設定根拠・算出方法		—						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	小学校給食事業	事業番号	038-089
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	1,719,062	1,804,216	2,558,489	2,094,608	2,170,025
		国支出金		466	581,140		
		府支出金					
		市債					
		その他 (建物貸付収入、徴収金収入)				1,287	1,927
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	1,719,062	1,803,750	1,977,349	2,093,321	2,168,098

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源	R4	予算	事業費	うち 一般財源
		学校給食調理業務委託料	R3	予算	1,892,087	1,892,087		給食用食器等消耗品費	R3	予算	24,219	24,219			
			R4	予算	1,957,858	1,957,858			R4	予算	25,528	25,528			
		学校給食運営業務委託料	R3	予算	73,761	73,761		その他 (謝礼金、会場等借上料、光熱水費など)	R3	予算	3,046	1,759			
			R4	予算	71,847	71,376			R4	予算	2,844	2,130			
		調理場等の施設維持管理等委託料	R3	予算	34,990	34,990			R3	予算					
			R4	予算	45,005	44,263			R4	予算					
		厨房備品等購入費	R3	予算	38,613	38,613			R3	予算					
			R4	予算	39,004	39,004			R4	予算					
		食品衛生検査手数料	R3	予算	27,892	27,892			R3	予算					
			R4	予算	27,939	27,939			R4	予算					

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校給食の実施 ■ 施設設備等の改善
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校給食の実施 (継続) ■ 施設設備等の改善 (継続)
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校給食の実施 (継続) ■ 施設設備等の改善 (継続)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校給食は学校給食法に基づき実施しており、安全安心な学校給食を児童に提供するために、学校給食法第9条学校給食衛生管理基準に準拠した事業を継続する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート（1）

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	食の安全	事業番号
担当部署名	教育委員会事務局	038-090
	局	部
	学校管理部	課
		学校給食課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	平成 11 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■ 地方自治法第234条の2					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	■ 堺市立小学校・支援学校の児童生徒42,208人 (R3.5.1時点)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 学校給食のより一層の安全性の確保のため
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「堺市学校給食安全衛生推進専門家会議」を組織し、市関係者とは異なる衛生と経営の専門家や保護者の視点から学校給食調理場等の実地調査を実施。 ■ 学校給食調理業務委託校において栄養士が仕様書に基づき学校給食調理業務委託の履行確認を実施。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	—
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績				目標
			令和2年度	実績見込み 令和3年度	令和4年度	目標 令和7年度	
11	仕様書に基づき履行できていた学校の割合 (栄養士未配置校)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
			達成率	100%	100%	100%	100%
	当該指標を選定した理由	仕様書に基づき安全・安心な給食の提供ができていたかが重要であるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	巡回栄養士による履行確認結果で「十分履行されている」「注文事項はあるが履行されている」に該当する割合。安全安心な学校給食実施のため100%を目標とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績				目標
			令和2年度	実績見込み 令和3年度	令和4年度	目標 令和7年度	
			目標値	—	—	—	—
		実績値	—	—	—	—	
	達成率	—	—	—	—		
	当該指標を選定した理由	—					
	目標値の設定根拠・算出方法	—					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	食の安全	事業番号	038-090
-------	------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	28,179	23,737	29,436	39,273	40,624
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	28,179	23,737	29,436	39,273	40,624

事業費の内訳		(単位：千円)											
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源		
			R	予	算			R	予	算			
		巡回栄養士報酬	R3	予	算	29,400	29,400		R3	予	算		
			R4	予	算	30,293	30,293		R4	予	算		
		巡回栄養士期末手当	R3	予	算	6,207	6,207		R3	予	算		
			R4	予	算	6,308	6,308		R4	予	算		
		専門家会議委員謝礼金	R3	予	算	306	306		R3	予	算		
			R4	予	算	306	306		R4	予	算		
		巡回栄養士費用弁償 (通勤費)	R3	予	算	3,120	3,120		R3	予	算		
			R4	予	算	3,276	3,276		R4	予	算		
		巡回栄養士費用弁償 (旅費)	R3	予	算	240	240		R3	予	算		
			R4	予	算	441	441		R4	予	算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	~	R	要 求 額
					-

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺市学校給食安全衛生推進専門家会議の設置 ■ 学校給食調理委託業務の履行確認の実施
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺市学校給食安全衛生推進専門家会議 (継続) ■ 学校給食調理委託業務の履行確認 (継続)
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堺市学校給食安全衛生推進専門家会議 (継続) ■ 学校給食調理委託業務の履行確認 (継続)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市は学校給食実施者として、責任をもって調理業務委託の履行確認を行い、学校給食の安全性を確保する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中学校夜間学級給食運営事業	事業番号	038-093
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部
		部	学校給食課
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	
		寄与する KPI	有・無	指標名	—	—	—
	無		現状値	—	目標値	—	
	有・無		ゴール	—	ターゲット	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策との 関連	有・無	取組	—	—	
無			—	—	—		
寄与する KPI		有・無	指標名	—	—	—	
	無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	昭和 47 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺市立殿馬場中学校（夜間学級）の生徒124人（R3.5.1時点）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■中学校（夜間学級）で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■中学校（夜間学級）において、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	/	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 アンケート調査による満足度	%	目標値	100	100	100	100	100	
		実績値	97	97	—	—		
		達成率	97%	97%	—	—		
当該指標を選定した理由		修学支援という目的への貢献度を、生徒の満足度の観点から図るため。						
目標値の設定根拠・算出方法		補食給食のパンの内容（味）に満足している人の割合						
12	-	/	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	—		
			目標値	-	-	-		
			実績値	-	-	-		
当該指標を選定した理由		-						
目標値の設定根拠・算出方法		-						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	中学校夜間学級給食運営事業	事業番号	038-093
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	2,488	1,710	1,220	1,742	1,629
		国支出金			39		
		府支出金					
		市債					
		その他 (物品売払収入)				16	16
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	2,488	1,710	1,181	1,726	1,613

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		パン・牛乳食糧費	R3	予算	1,742	1,726		R3	予算		
			R4	予算	1,629	1,613		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ 補食給食の提供
	R4	■ 補食給食の提供 (継続)
	R5以降	■ 補食給食の提供 (継続)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 限られた休憩時間の中で、生徒が喫食しやすく、内容を充実させた補食給食を提供し、生徒の空腹を解消して授業に集中できるよう支援する。 ■ 生徒へのアンケートなどから、可能な限り生徒のニーズを反映したパン内容とする。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校給食運営事業	事業番号
担当部署名	教育委員会事務局	038-094
	局	部
	学校管理部	課
		学校給食課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標名	—	—	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—
2 関連計画		—					
3 事業開始年度		昭和 26 年度		点検年度		令和 7 年度	
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		■ 学校給食法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■ 本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■ 堺市立支援学校児童生徒364人 (R3.5.1時点)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■ 堺市立特別支援学校に在籍する児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に寄与するものである。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	■ 堺市立特別支援学校において給食を児童生徒に提供している。給食調理業務は百舌鳥支援学校(分校)を除く2校について民間委託している。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■ 委託業者
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 令和7年度	点検年度
11 児童生徒数に対し、それぞれの状況に応じた給食の提供ができている割合	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	100	100	—	—
		達成率	100%	100%	—	—
当該指標を選定した理由		支援学校においては、個に応じた給食を提供する必要があるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		支援学校では、全児童生徒に対し、状況に応じた給食の提供を行うことを目標とする。				
12 活動指標(成果を上げるための手段)	—	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	—	
		目標値	—	—		
		実績値	—	—		
達成率		—	—	—		
当該指標を選定した理由		—				
目標値の設定根拠・算出方法		—				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	特別支援学校給食運営事業	事業番号	038-094
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	39,622	39,958	45,648	48,756	47,525
		国支出金			4,302		
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	39,622	39,958	41,346	48,756	47,525

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源				
		学校給食調理業務委託料	R3	予算	42,018	42,018		R3	予算						
			R4	予算	40,590	40,590		R4	予算						
		会計年度任用職員 (調理員) 報酬	R3	予算	5,157	5,157		R3	予算						
			R4	予算	4,982	4,982		R4	予算						
		会計年度任用職員 (調理員) 期末手当	R3	予算	1,104	1,104		R3	予算						
			R4	予算	1,047	1,047		R4	予算						
		会計年度任用職員 (調理員) 費用弁償 (通勤費)	R3	予算	468	468		R3	予算						
			R4	予算	891	891		R4	予算						
		会計年度任用職員 (調理員) 費用弁償 (旅費)	R3	予算	9	9		R3	予算						
			R4	予算	15	15		R4	予算						

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	■ 学校給食の実施
	R4	■ 学校給食の実施 (継続)
	R5以降	■ 学校給食の実施 (継続)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学校給食は学校給食法に基づき実施しており、安全安心な学校給食を児童生徒に提供するために、学校給食法第9条学校給食衛生管理基準に準拠した事業を継続する。
----	---------	---